

様式第 3 号（第 1 1 条第 2 項関係）

議 事 概 要 書	
令和 4 年度第 2 回玉野市史編さん委員会 会議録	
開 催 日 時	令和 5 年 2 月 6 日（月） 10：00～11：50
開 催 場 所	玉野市役所 大会議室
出 席 委 員	市史編さん委員会委員 委員長他 5 名（欠席委員 2 名）
事務局出席者	教育長、事務局 6 名
傍 聴 の 可 否 （非公開の理由）	可
傍 聴 人 数	なし
審 議 概 要	1 開会 2 教育長挨拶 3 委員長挨拶 4 報告 （1）業務委託（委託事業者の決定）について （2）今後のスケジュールについて （事務局より説明） （事務局） 現在の進捗状況について、資料の収集は、10 月から 11 月に、基礎資料（広報たまの、市勢要覧、議会だより、学校関係誌、基本構想・総合計画、既刊市史等）、11 月中旬から第 1 次資料として、主に市庁内の資料を収集中である。今後は、来年度にかけて第 2 次資料として、第 1 次資料の追加調査、民間事業者、各地区、詳しい方への聞き取り等を進める。 5 協議 （1）全体構成について （事務局より説明） <u>仕様・判型（案）</u> （委員） イメージ案を確認し、B5 判、縦組、2 段組が適当と考える。 （委員） B5 判は、大人は読みやすく良いが子どもたちには大きいサイズの方が良いのでは。2 段組の方が読みやすい。 （委員） 実物例の A4 判サイズで発刊している他自治体の市史は、こういった経緯でこのサイズとなったのか。いつ発刊されたものか。 （事務局） 地理編として編さんされ、グラフ等の分量の大きい資料が掲載されている。同時に発刊されても対象とする編（へん）により A4 判にしたり B5 判にしたりと使い分けられている。2010 年に発刊された。 （委員） 現在は、紙の資料を物理的に小さく、少なくしようとして

	いる。保管場所にも制限があり大学図書館でも閉架として いる書籍が多い。記録的スピードで電子媒体に移行してい る。紙媒体はできるだけコンパクトにして、電子化するの ならパソコン等で必要な箇所を読んでその部分のみを印刷 するという形となっている。
(事務局)	完成した市史は電子版とし本市のホームページ上で公開す る予定であり、その電子媒体を利用する人が多いと思われ る。組み方について通しとするのか、２段組とするかはい かがか。
(委員)	電子版で読むとすると、縦組より横組の方が見やすいので はないか。パソコンで読む時はどうであろうか。電子版と いっても紙書籍も発刊するので手に取る人のことも考えて はどうか。若い世代、特に学生等は、縦組、横組どちらが よいか。
(委員)	自然科学分野では横組のみである。人文分野では縦組が多 く、市史は歴史だから縦組が適当かと思う。
(委員)	提案のあった B5、縦組、２段組でいいのでは、とりあえず 決定とする。
	<u>執筆要領（案）</u>
(委員)	執筆・編集指示要領（案）P8(8)①図表写真の区別について、 図と表の表示は、分けた方がよい、図と表は異なるもので ある。
(委員)	書籍執筆では多くの決まりごとがある。一般に「いわれて いる」という表現を使用する際は、「いう」は漢字ではな く平仮名となるか。
(事務局)	おっしゃるとおりである。
(委員)	執筆・編集指示要領（案）で、この記載表示はよく考えた 方がよいということがあれば教えて欲しい。なければこの 指示要領（案）の内容で進めて良いのでは。
(事務局)	P6(6)②(b)の年月日表記と年の位置について、年号の併記 をしようとしているが元号を先にするか、西暦を先にするか、 についても選択となる。
(委員)	元号が良いか西暦が良いかは世代により大きく分かれるの では。昭和生まれは元号が良いし、今の学生は西暦を使用 する。
(委員)	P7(6)⑤数量の単位について、案としてカタカナを選択して ある、事務局の説明でもあったが、ここは、他例にある記 号や合字でも良いのではないか。
(委員)	P7(6)⑤について、同意見である。カタカナは間延びした感 じがする、記号や合字の方が良い。
(事務局)	今回の会議の場でこれらの内容全てを決定することは、困 難であるとする、とはいえ、早い段階に決定はしたいの

でご意見をお願いしたい。

算用数字か漢数字か、年号は西暦か元号か等記載パターンが色々ある。この執筆・編集指示要領（案）で今回の協議でご意見のあった個所（※）について次回に各パターンの実例をお示しし、協議をお願いしたい。

※（P6(6)②（b）年月日表記と年の位置、P7(6)⑤数量の単位、P8(8)①図表写真の区別等）

目次構成（案）

（委員） 現在の想定字数等はいかがか。

（事務局） 目次ページ割案としては、第1編 40 ページ、第2編 20 ページ、第3編 420 ページ、第4編年表ほか 20 ページの計 500 ページを想定している。1 ページは B5 判、2 段組であれば 1,296 字と考えている。

用紙の上部の空きを大きくし写真等を入れるスペースと考えている。この部分は詰めることもでき、その場合は文字数も多くなる。

（委員） 第1編郷土の歴史は前回同様の内容となるのか。

（事務局） 第1編は、既刊市史の内容を 40 ページに凝縮して記載する形である。この部分の歴史については、既刊市史があるから記載は不要であるという考えもある。

（委員） 今回編さんの市史を続編とするのなら、これより前は既刊市史を参照とするのも良いと思う。

（事務局） 委員の考えも一考であり、そのあたりの記載をするかどうかも選択となる。今回の案に第1編をあえて入れたのは、続編1冊でも市の歴史全体を分かりやすく見渡せるためである。

（事務局） 市史の内容を行政の歴史とするのか、まちの歴史とするのかで内容はかなり変わってくる。警察署や郵便局等は市史記載に入れないという方法もあり、その辺りも検討の余地がある。

（委員） いわゆるまちの歴史が適当ではないか。まちは行政のみで構成されているわけではない。

（事務局） まちを構成している市民みんなの市史という選択もあり、今後目次を決定していく中で検討となる。

（事務局） 資料収集は、本年は市庁内の資料、そこに民間企業等も入っているので、今後は民間や地区にも広げていこうと考えている。市全体が市の歴史であると考えている。

（委員） 市は成り立ちを含め、民間等があってのものである。広い意味での市の発展、変遷について触れると良いのでは。ある程度具体的な内容が出てこない、この内容協議は難しいのではないか。

（委員） 第1編郷土の歴史として既刊市史の概説を記載するのかどうかについても、次の協議事項となっている市史の名称と関係してくる。第1編も記載されていておかしくないよう

	な名称としたら良いのではないかと思います。テレビ番組等でも前編と後編に分かれている場合は、後編の冒頭で前編のダイジェストをしている。
(委員)	市内には文化協会をはじめ多くの関係団体があるが、既刊市史には記載がない団体もある。歴史の中にはあったものなので考察が必要ではないか。他市の例では、記載があるか。
(事務局)	記載されている例が多い。
(委員)	そうすると記載がある方が良いのではないか。
(事務局)	全部の資料を揃えてみて資料的に全体の分量がどうなるのか。団体として記載をするとなると、どの団体を取りあげるのか検討が必要となる、文中で関わることがあると記載するという切り口もあり、今回の目次案は、まず第1案で、貴重な意見として今後検討していきたい。
(委員)	多くの意見が出て良い、この委員会の中で市史を一から作りあげていくので、忌憚のない意見をしっかりと伝えて欲しい。提案書の形でも意見を伝えてもらえると良い。
(2) 新市史の名称(書名)について	
(事務局より説明)	
(委員)	参考例としての②の現代版は、資料記載のとおり次に編さんする時に疑問が残る。①昭和後期から平成編も良いが、元号表記のため執筆要領・編集指示要領(案)で年を西暦優先で記載するのなら疑問が残る。③続編も次回を考えるとどうか、④第2巻はいいのでは、⑤玉野の歴史等は、①～④と異なる現代的表記となるが、この場合は、目次の第1編の取扱いについて既刊市史を圧縮記載するとすればいいのでは。
(委員)	既刊市史の内容で誤記がある箇所を修正して、要約や圧縮記載するのかどうか、も考えるところだ。既刊市史は通史編のほかにも発刊されているため「通史編2」とするのもいいと考える。いずれもどういう内容を記載するかで名称は変わってくるのではないだろうか。委員さんからの提案を入れ、記載内容をしっかりと議論した上でそれにあわせて名称や書名タイトルを決めるというのが良いのではないか。
(委員)	名称についてこれから検討に入るので、提案書等で多くの意見をお願いします。
(事務局)	まず、今回はご意見として、執筆要領・編集指示要領(案)で単位、数字、年号の記載方法について協議が必要であると考えている。
(委員)	執筆要領・編集指示要領(案)の該当箇所について、例示を出してもらいその協議を経て、最終的に名称まで決定するということで良いと思う。その方が決めやすいと思う。

	(事務局) 既刊市史は誤記等がある。既刊の内容を今回、第1編として概説記載するのならそこで訂正する、どういう手法とするのか、また今回新規に記載しないのなら誤記等をどうするのかという問題も残る。今後の課題として事務局は受け止めている。 (事務局) ご意見やご要望に対して対応できることできないこと両方あるが、しっかりご意見を頂戴し、より良い市史となるようにしたい。 (3) その他 なし 6 閉会
特 記 事 項	無
事 務 局	玉野市教育委員会社会教育課 電話 0863-32-5577 FAX 0863-32-1329